

<p><b>防火標語</b></p> <p>その火事を 防ぐあなたに 金メダル</p>		<p>発行所 公益財団法人長野県消防協会 (長野県庁東庁舎内)</p> <p>〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2 TEL (026) 232-5319</p> <p>編集発行人 武井 郁郎</p>
---	--	---

### 就任あいさつ



公益財団法人長野県消防協会会長

武井 郁郎

向暑の候、皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。県下3万4千有余名の消防団員の皆様には、各地でご活躍のこととご推察し、感謝申し上げます。

この度、6月10日の理事会において、公益財団法人長野県消防協会会長に選任されました武井です。就任にあたり一言ごあいさつ申し上げます。

これまで多くの諸先輩方が築き上げてきた、歴史と伝統を誇る長野県消防協会長の大役を考えた時、責任の重大さに身の引き締まる思いでございますが、その責を全うすべく副会長をはじめとする役員の皆様、事務局のご協力を賜りながら全力でこの職を全うしますので宜しくお願いいたします。

昨年、10月12日の令和元年東日本台風の接近、通過に伴い東日本の広範囲にわたる大雨、暴風、高波で甚大な被害

となりました。特に雨量については関東甲信地方、東北地方の多くの地点で降水量の観測史上例を見ない記録的な豪雨となり、その影響で人的被害、河川の氾濫、土砂災害、住宅の浸水被害、道路の寸断などにより住民の生活に大きな影響が出ました。

長野県においても全県にわたり被害をもたらしました。人的被害においては県内で5名の尊い命が失われたことに対しご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された皆様にはお見舞いを申し上げますとともに一日も早い復興をお祈り申し上げます。

この台風において全県各地の消防団員の皆様においては、県民の皆様の安全確保のために活動されたことに対して深く感謝と敬意を表します。被災しながらも住民の生命を守るため救助、避難誘導、警戒活動をして頂いた団員の皆様に感謝を申し上げますと共に早期復興を心よりお祈り申し上げます。

県内の災害復興が徐々に進んでいる中、春を迎えたと同時に、新型コロナウイルスの拡大によって全世界が外出自粛や密閉、密集、密接の3密を避け感染拡大防止に努めています。消防団活動に

おいても、規律訓練、操法訓練、水防訓練、地震対策等あらゆる会議等が中止や延期となる中、中信地方を中心に広い範囲で地震が相次いでいます。また、5月の台風1号の動きを見ますと九州地方に大雨を降らせてその後、東海、関東に沿って北上していきましました。

これらの動向はどこで災害が起きてもおかしくない状況です。平成25年12月に施行された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づいて消防団が中核となり地域の皆さんの総力を結集して防災力を充実強化する、この趣旨に鑑み、長野県消防協会としまして安心安全な郷土を作るため消防団活動がより安全で確実なものとなるよう努力してまいります。

さて、新型コロナウイルスの影響で、総務省消防庁及び日本消防協会主催による第27回全国消防操法大会、第62回長野県消防ポンプ操法大会、第29回長野県消防ラッパ吹奏大会が中止となりました。規律や士気の高揚、技術の向上にと目標を持って毎年行っていました大会が、新型コロナウイルス対策によって行われなくなりましたことは非常に残念なことではありま

すが、住民の生命、財産を守るためには消防団としては致し方ないと思います。

今後、新型コロナウイルスの2波3波が来ると予想もされていますので、感染予防を徹底して、長野県消防協会役員の皆様、各地区協会役員の皆様、そして3万4千有余名の消防団員の皆様と心一つにして、この難局を乗り越えていきたいと思っております。

結びに、長い間長野県消防協会の発展にご尽力を頂き、先日任期を終えられた評議員の皆様、宮下前会長様、副会長様はじめ、役員の皆様の益々のご発展をご祈念申し上げます。就任のあいさつといたします。

### 消防関係者 春の叙勲

県内からは、次の方々を受章の栄に浴されました。

瑞宝単光章

元木祖村消防団団長

篠原 安磨

元大町市消防団団長

福島佐智夫

元松本市消防団分団長

三村 隆彦

元長野市消防団副団長

和田 芳一

# 長野県消防協会の新しい体制

令和2年6月10日付

評議員

役員



評議員  
**田中 敏勝**  
(前須坂市消防団長)



評議員  
**倉科 広三**  
(池田町消防団長)



評議員  
**藤森 芳樹**  
(前諏訪市消防団長)



評議員  
**河西 満正**  
(元長和町消防団長)



評議員  
**五十嵐 幸男**  
(県消防協会参与会長)



副会長  
**渋谷 智義**  
(高山村消防団長)



副会長  
**清水 昌敏**  
(原村消防団長)



副会長  
**吉澤 節夫**  
(川上村消防団長)



副会長  
**上條 博文**  
(松本市消防団長)



会長  
**武井 郁郎**  
(千曲市消防団長)



理事  
**北原 義康**  
(駒ヶ根市消防団長)



理事  
**清水 正**  
(下諏訪町消防団長)



理事  
**町田 佳彦**  
(東御市消防団長)



理事  
**青木 春美**  
(小諸市消防団長)



理事  
**中島 公彦**  
(南相木村消防団長)



常務理事  
**前沢 直隆**  
(長野県危機管理部消防課長)



理事  
**田中 康喜**  
(小布施町消防団長)



理事  
**小宮山 泉**  
(坂城町消防団長)



理事  
**山崎 佳之**  
(松川村消防団長)



理事  
**米窪 潤司**  
(塩尻市消防団長)



理事  
**森本 剛士**  
(木曾町消防団長)



理事  
**久保田 直也**  
(下條村消防団長)



監事  
**中村 靖**  
(県町村会常務理事)



監事  
**平出 誠二**  
(大町市消防団長)



監事  
**中村 収**  
(立科町消防団長)



理事  
**小菅 和重**  
(中野市消防団長)



理事  
**中村 庄市**  
(長野市消防団長)

## 令和元年度歳入歳出決算

(平成31年4月1日～令和2年3月31日まで)

(単位:円)

<b>I 事業活動収支の部</b>	
<b>1 事業活動収入</b>	
基本財産等運用収入	6,906,000
事業収入	6,164,334
補助金等収入	10,360,806
雑収入	3,257,443
事業活動収入計	26,688,583
<b>2 事業活動支出</b>	
事業費支出	16,395,347
機関紙発行事業費	311,600
予防宣伝対策事業費	909,229
教養訓練事業費	9,874,620
表彰事業費	3,012,955
弔慰救済事業費	2,286,943
管理費支出	12,034,180
事業活動支出計	28,429,527
事業活動収支差額	△1,740,944
<b>II 固定資産取得支出</b>	0
<b>III 特別積立預金支出</b>	176,100
当期収支差額	△1,917,044
前期繰越収支差額	5,677,848
次期繰越収支差額	3,760,804

令和2年度定時評議員会を6月10日(水)に、長野市のホテル犀北館で開催しました。臨時理事会(書面表

## 定時評議員会

5月22日(金)開催予定の令和2年度第2回理事会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となったため、臨時理事会(書面表決)を5月25日(月)に開催し、令和元年度事業報告及び歳入歳出決算が承認され、評議員会に提案することが決定しました。その他、評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項、業務執行理事の職務代行順について、それぞれ決定されました。

## 臨時理事会(書面表決)

決)において承認された、令和元年度事業報告の後、歳入歳出決算について説明、湯本監事から監査結果の報告があり、原案どおり決定されました。次に、任期満了による新しい評議員、理事、監事が選任されました。



定時評議員会 6月10日(水)

## 第3回理事会

定時評議員会と同日の午後、新しい理事による改選後初の理事会(令和2年度第3回理事会)を開催しました。

まず、会長の選定を行った結果、武井理事(千曲市消防団長)が会長に選定されました。次に、副会長に、上條理事(松本市消防団長)、吉澤理事(川上村消防団長)、清水理事(原村消防団長)、渋谷理事(高山村消防団長)が選定され、業務執行理事に上條副会長が、常務理事に県消防課長の前沢理事が選定されました。そのほか、業務執行理事の職務代行順、参与の推薦について決定されました。なお、参与については宮下前会長が推薦されました。



第3回理事会 6月10日(水)

## 第2回県消防ポンプ操法大会・県消防ラッパ吹奏大会あり方検討会

県消防ポンプ操法大会・県消防ラッパ吹奏大会の現状と課題、今後の方向性を検討するため、第2回「県消防ポンプ操法大会・県消防ラッパ吹奏大会あり方検討会」を6月10日(水)長野市のホテル犀北館で開催しました。

役員改選により、委員も変更となりましたので、第1回検討会の検討結果の確認と今後の方向性等について検討を行いました。



県消防ポンプ操法大会・県消防ラッパ吹奏大会あり方検討会 6月10日(水)

## 退任正副会長への知事感謝状交付式

県消防協会の正副会長の重責を担われ、在職中に県政の発展に寄与された4名の皆さんに対し、6月15日(月)に阿部知事から感謝状が交付されました。



退任正副会長への知事感謝状交付式 6月15日(月)

## 退任あいさつ

退任された、正副会長に退任のあいさつを寄稿していただきました。



前会長  
宮下 和博

退任に当たり一言ごあいさつ申し上げます。

令和元年度においては、災害を始めとして波乱の年でしたが、各団長の皆さん団員の皆さんの協力をいただく中で、至らない点は多々あったと思いますが、長野県消防協会を運営できたことに對し心より感謝申し上げます。

私自身この1年間で消防団のことだけでなく人生経験としても、良い学習ができたと思います。長野県内77団の運営方針や考え方、団の規模や地域との取り組みなど条件が様々な中で、各団が団員たちの安全管理や団の存続等に全力で取り組んでいることも改めて感じさせていただきました。

人はだれかの考え方に共感することとはあっても同じ思考の人はいないと思います。自分と反対意見が出るのも当然でしょう。ただ、皆さんにお願いしたいことは、消防団の活動は時代の移り変わりや自然災害の変化により従来の活動からさらに前進した活動内容の検討も必要になって

います。

是非、皆さんには、いろいろな意見を聞き、検討していただきたいと思えます。そうした経過の中で、それぞれの団で出た結果が正しい答えだと思えます。何も考えないことにも未来はありません。私が書いた内容も正しいかわかりませんが、一人のOBの思いということで、読んでいただければ幸いです。新型コロナウイルスの今後の状況も心配な中、各団の活動自体も苦勞していることと思えますが、それぞれ体調に注意していただき、自分を守り家族を守り地域を守っていただきたい思いを込めてあいさついたします。



前副会長(元会長)  
古村 幹夫

在任期間中は、皆様に大変お世話になりました。

新型コロナウイルスが、消防団の活動にも大きな影響を与えています。県協会においても、令和2年度のポンプ操法・ラッパ吹奏の大会が中止となりました。大会に向けた訓練期間中の団員の健康管理や、有事に備えた組織としてのあり方を考えた時に、多くの理事の皆様が賢明な判断をいただけたと感じております。

一方で、各団の大会開催についての判断を、全国大会や、県大会開催可否の結果に委ねた団もありました

が、今回の感染症対策は、まさに災害対応であり、各団の置かれている状況を迅速に判断し、団員を守る事ができるのはそれぞれの自治体の長であり、また消防団長であると思えます。

自治体消防制度における消防団のあり方を見つめ直し、団員の皆様が安全に、そして自信を持って活動できる環境を整えていただきたいと思えます。皆様の更なるご活躍をお祈り申し上げます。



前副会長  
片山 真

6月10日をもって、長野県消防協会副会長の任期を終えさせていただきます。この2年間にたくさんの方に出会い、そして大変お世話になりました。皆様に心より感謝申し上げます。

このような任務を頂き、得難い経験をさせていただいたと喜んでおります。小さな村の消防団長ではありますが、長野県を、そして全国を見渡して消防団活動について考える時間をいただきました。

現在、このような状況にあり、全国の90万人の消防団員が時を同じくして、同じ戸惑い、悩みを抱えております。これは苦境ではありませんが、消防団活動の在り方を各団員が、各自自治体消防団が改めて考える

ことができる大きなチャンスであると思えます。日本中の消防団員に感謝と期待を申し上げます！



前副会長  
塩川 浩次

2年の任期を終え、県消防協会理事の皆さんを始め、消防関係の皆様には大変お世話になりました。改めてお礼を申し上げます。

昨年の台風19号では、近年に無い大規模な災害になり、被災された、消防団員の方には、改めてお見舞い申し上げます。義援金に際しても、多くの団員からご支援頂きました。消防団の絆を改めて認識しました。

また、新型コロナウイルスの発生で、操法大会や会議・訓練が、中止になるなど、活動の先行きが見えず不安の中、最後の理事会も書面決議と、寂しい終わり方になりました。会議の方法も変わり、消防団活動も変わる時期なのかもしれません。新役員の方々に期待します。とは言え、災害に自粛はありません。感染予防に十分注意して有事の際に備えてください。

任期中得た経験を生かし、消防団の皆さんのお役に立てるよう、微力ながら協力したいと思えます。皆様の今後のご活躍ご多幸を心よりお祈り申し上げます。ご協力ありがとうございました。